

広報 かがやき

人のうごき (49.2.1現在)	
男	15,720人
女	16,906人
計	32,626人
世帯数	7,708

春を告げる

左義長祭り賑わう

2万人が繰り出す

勝山の伝統行事、左義長祭りは、粉雪が舞う二十四日、ふれ太鼓を合図に華やかに幕をあげ

各グラでは一斉に左義長ばやしが始まり、雪の町に春の訪れを告げるかのように独特のリズムが流れ、道ゆく人々に祭り気分を盛りあげていました。百四十人の小・中学生が参加した「子どもばやしコンクール」ではねじりはち巻に法被姿のチビっ子たちのバチさばきにヤグラの周りが盛り上がり、声援が飛び拍手が湧いていました。

祭りは二十五日最高潮になり午後十時過ぎ、九頭竜川畔で火祭りのファイナルを飾って、どんど焼きが行われ、勢いよく燃えさかるとどは夜空をこがし見物客を湧かせました。子どもばやしコンクールと作り物コンクールの結果は次のとおりです。

- 作り物の部 市長賞・福井新聞社賞 下袋田、商工会議所会頭賞 郡
- 子どもばやしの部 市長賞 下袋田、商工会議所会頭賞 上後、観光協会賞 中後、中日新聞社賞 下袋田、左義長ばやし保存会長賞 下袋田、地区区長会長賞 下袋田、子ども会育成連絡協議会長賞 郡



奥越の春を告げる「勝山左義長ばやし」は残雪の里に鳴りわたる

五月三日・四日・五日の三日間開かれる、第五回日本都市青年会議勝山大会は、あと五十六日と迫って来ました。

この大会には、全国各地の都市から約五百人の若人が自然に恵まれた私たちのまちに集まり「わがまちをどうするか」というテーマで、それぞれの持つ都市の悩みや将来を討議します。

実行委員会(深谷桂一会長)では、大会がより充実した成果をもたらすようにと、各方面へ講師・助言者を求め働きかけて来ましたが、若人たちの情熱と大会の意義をよく理解して多くの著名な先生が勝山大会に参加していただけることになりました。

先づ大会開催中に行われる記念講演には、東京大学総長 林健太郎先生の「混迷の時代をどう生きるか」、京都大学教授 会川雄次先生の「日本人のこころ」とそれぞれ高度物質文明がもたらした数々の弊害は、核家

あと56日

講師・助言者きままる

族問題、人間退廃現象など人間の生命、人間のこころを軽視する風潮にさす達してきている中で、問題点をとらえ深くノスを入れ、私たちはどうすればよいかを説いてくださると思いま

科会(参加者対象)は五分科会に分れ、それぞれのテーマで諸先生方の助言を得ながら熱心にディスカッション(討議)が展開されます。

第一分科会は「市民と行政の接点をどこに求めるか」のテーマ、助言者は「ワイン町長奮戦

をテーマに、助言者には黄檗山緑樹院塔頭、村瀬玄妙老師、金沢大学教授で石川県自然保護協

会長の木村久吉先生を迎え、公害問題、環境保全と人間の問題について討議します。

第四分科会は「青年の集団活動における技術」をテーマに、日本ハートモーターセンター理事長大野重男先生を助言者に、集団活動のテクニックを話し合います。

第五分科会は「有限なる資源」をテーマとして、世界的課題のエネルギー問題、物不足等、私たちの生活に密着した資源問題を究明します。助言者は目下交渉中です。

以上現在決定している講師、助言者の方々とテーマを紹介しました。(資料は日都青実行委員会広報委員会提供による。)次回は大会プログラムをお知らせします。

市議会議員小林与七氏は去る二月七日午後二時四十分、急性肺炎のため市内の病院で死去されました。七十三歳。氏は勝山町議会議員を三期、その間勝山町選羽村中学校組合議会議長、町議会議員を二期、市議会議員を二期、南部土地区画整理委員を二期、環境保全審議会委員、農業委員会委員などの要職にあって市政の発展に貢献されました。

小林与七市議死去

春の交通安全県民運動

悲慘な交通事故を少しでも減らすべく、ことしも春の交通安全県民運動が四月六日から十日間繰り広げられます。その準備期間は、今月十六日から四月五日までの二十日間。県民すべてが交通安全に対する心がまえを新たにして、自分たちの周囲から悲しい出来事を減らしていきたいものです。

今回のスローガンは「みんな歩行者と自転車の交通安全を防止しよう」です。最近、歩行者の交通事故や自転車の事故について、交通事故が相ついでに起っています。

運動車だけでなく、歩行者も自転車を利用する人も交通安全に対する意識が少しゆるんで来ていて、歩行者は歩行者として、一人一人が交通安全に十分気を配れば、事故はかならず減少することが出来ます。

止まります 待ちます 車のきれるまで

道を歩く時は必ず歩道か、道路の右端を歩くことが歩行者のマナーです。よく道路をいっぱいになって歩いたり、斜め横断をしたり、歩道幅があっても利用しない人があります。このようなくはせびやめてほしいものです。歩行者の事故の多く発生する

市内の小学校周辺の道路は、スクールゾーンに指定され、時間によって交通規制されています。ことは、更に野向、平泉寺、三室の小学校周辺にスクールゾーンが設けられます。

児童の安全通学に運転者のみなさんの御協力をお願いします。

自転車を乗るときは、整備の行き届いた車を使用すること。自転車の正しい乗り方を守って、発進、停止、右左折の合図をしましょう。特にお年寄りの方の自転車乗りはとも危険です。なるべく自転車に乗らないようにして、止むなく使用するときは、道路左端を走り、右折左折は自転車から下りて安全を確かめてから行動するように安全を第一にしてください。

運転者も歩行者も一丸となって交通安全運動をすすめましょう。



思い出を壁画に

—勝中生徒会—

四月一日、勝中中学校、中部中学校の開校によって、二十七年の歴史を閉じることになった勝山中学校生徒会では、母校の思い出を残そうと、全員参加で壁画を制作していましたが、このほど完成しました。

この壁画は、勝中記念館に掲げ、いつまでも母校の思い出を残すことにしています。また、グラウンドでは、雪の芸術祭を開き、各クラスが作りあげた雪の芸術は、機関車、城、勝中体育館、大仏などどれも見事な出来栄で、勝中最後の冬を楽しみ、それぞれの作品の前で記念撮影をしました。

生徒会長の多田君は「勝中最後の生徒会なので、全員の力で後世に、母校の思い出を残そうという、全員の意見で、題材もみんな考えて制作しました。きつとよい記念になると思います。」と話していました。

田町長 丸谷金保先生を迎え、体験と実践が生んだふるさとづくり運動の真髄を教えていただき、討議は更に盛りあがるでしょう。

第二分科会は、「世界の中心は日本」をテーマに開かれます。先生方には、元科学技術庁長官 平泉渉先生、ほかに大之木英雄先生を迎えます。

第三分科会は、「自然と人間のテーマ」に、助言者には黄檗山緑樹院塔頭、村瀬玄妙老師、金沢大学教授で石川県自然保護協

会長の木村久吉先生を迎え、公害問題、環境保全と人間の問題について討議します。

第四分科会は「青年の集団活動における技術」をテーマに、日本ハートモーターセンター理事長大野重男先生を助言者に、集団活動のテクニックを話し合います。

第五分科会は「有限なる資源」をテーマとして、世界的課題のエネルギー問題、物不足等、私たちの生活に密着した資源問題を究明します。助言者は目下交渉中です。

以上現在決定している講師、助言者の方々とテーマを紹介しました。(資料は日都青実行委員会広報委員会提供による。)次回は大会プログラムをお知らせします。



勝山中学校正面

すぐ行動 煙と火から命を守るろう

◇29日から春の火災予防運動◇

最近、火災による焼死事故が急激にふえてきました。県内でも丸岡町の火事で五人の子どもが焼死するという悲しい出来事がありました。

これは煙にまかれて逃げ出すことが出来ずに焼死してしまふのです。その原因は近年多く使われる建材が、燃える時に発生する有毒ガスが人間の生命をうばってしまうのです。

この町にも春が訪れてきます。春先特有のフェーン現象がおこり火災が最も発生しやすいシーズンともなります。

今月二十九日から春の火災予防運動が繰り広げられます。私たちの住む町から、火事を出さないようみんなが防火意識を高め不幸な出来事が起らないようにつぎのことを守ろう。

- 家庭用火災感知器の取り付け、はしご、ロープなど避難に使えるものを用意しておく。
- 煙には姿勢を低くして、口と鼻をハンカチやタオルで押さえて、すばやく逃げる。
- 逃げ出してからは、物を取り戻りに戻らない。
- 日頃家族で避難について話し合い、用具の使い方や誰と誰がいっしょに逃げるかを決めておきましょう。
- 寝る前には必ず火の元（ガス・電気・風呂場）の点検をする。

恵まれない人へ 五〇万円

栄町の林さん



恵まれない人に役立ててくたさいと、栄町四丁目林甚左工門さんは、このほど市へ五十万円寄附されました。

このお金は、林さんの次女、恵美子さんが、去る一月中旬亡くなられ、その香典の一部を市へ寄附されました。

市は、林さんの善意に感謝し、有意義に役立たせるよううにしました。

まことにありがたうございました。

農地の転用は 知事の許可を受けてから

近年、農地の転用が急激にふえています。

農地をみだりに許可を受けずに転用すると、農地法により処罰されますので、現在、農業生産のため耕作している農地を、住宅敷地や工場用地、道路、山林など耕作を目的としない農業以外に使用する時は、どんな場合でも、前もって農業委員会に相談し、農地転用許可申請書を提出してください。

転用許可があつてから着工するように厳重に守り、違反行為のないようにしてください。

外出の時も火の元の点検を忘れず、また隣へたのんで出かける。

ガス管や器具は時々点検し、ガス洩れがないか確かめておく。

寝タバコ、タバコの投げ捨て、くわエタバコなどは絶対しない。

デパートなどへ行つたときは先づ非常口など逃げ道を考えておく。

標準価格守られているか みんなで監視しよう

異常な物価高と物不足は私たちの生活をおびやかしています。国は石油二法を制定し、また買占めおよび売り惜しみ防止法も改正し、国民生活の安定をはかっています。

物価が上がったり、上がるおそれのある場合に、国民生活と関連性の高い物資を特に価格を安定させるべき物資を指定し、標準価格を決め、その価格を小売店に見やすいところに表示することになっています。

現在、指定されている物資のなかで四品目に標準価格が決められています。

指定物資	標準品目	標準価格
灯油	18ℓ缶入り(正味の量)	380円
液化石油ガス	10kg充てん容器入り	1,300円
紙	1しめ 800枚	235円
トイレットペーパー	1パック(4ロール)古紙を原料としたもの	55mもの 220円 65mもの 240円 60mもの 240円

消費者のみなさんは、小売店で、以上の四品目を買う場合、標準価格の表示がされているか、また、標準価格で買うことが出来るか監視することが、私たちの生活を安定させる一つの方法でもあるのです。

固定資産課税台帳 縦覧期間の変更

4月10日から 4月30日まで

毎年3月1日から20日までは、固定資産課税台帳の縦覧期間ですが、地方税法(昭和25年法律第226号)第415条の規定に基づき、昭和49年度分に限り、固定資産課税台帳の縦覧期間を、次のように変更しましたのでお知らせします。

◎縦覧期間 4月10日から4月30日まで

◎縦覧場所 勝山市役所税務課

原付自転車・耕耘機 車手続きは30日まで

みなさんのお宅に、廃車しようとする原動機付自転車や耕耘機(トレッラー付)はありませんか。

原動機付自転車・耕耘機(トレッラー付)の課税は、四月一日現在の所有者に一年分課税されることになっていきますから、廃車を希望される方は、三月三十日までに、市民課窓口で必ず手続きをすませてください。

もし、決められたとおり販売されていなかったり、売り惜しみなどがあつたら、すぐに市総務課広報係へ知らせてください。

●買占め売り惜しみ防止法による指定品目は次のとおりです。

灯油、揮発油、軽油、A重油、印刷用紙、チリ紙、京花紙、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、合成洗剤、羊毛、梳毛糸、梳毛織物、綿織物、綿糸、絹織物、生糸、液化石油ガス、医療用ガゼ、大豆、大豆油、大豆油粕、しょうゆ、の二十七品目です。

このうち標準価格が定められているのは、灯油、液化石油ガス、トイレットペーパー、チリ紙の四品目です。

佳作 齊藤真一 三室小六年 島田明子 鹿谷小五年

◇中学生の部

首席 矢口恵子 勝山中一年

次席 高須真弓 勝山中一年

辻 寿美 北郡中二年

佳作 藤沢ひろみ 中部中三年 齊門博之 勝山中一年

福社センターへ 十万円贈る

元町二丁目、小林信慈さんはこのほど亡父小林与七氏の香典の一部を、心身障害児(者)福祉センターのために役立ててほしいと寄附されました。

小林さんは、亡き父が生前お世話になり、この十万円が福祉のため役立つなら、故人もきっと喜ぶでしょうと話しておられました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

福井社会保険事務所では、三月・四月に厚生年金の相談日を次のとおり設けます。

○日 三月十八日(月)

○日 四月三日(水)

○日 四月十七日(水)

いずれも午後一時から四時まで

○場所 勝山商工会議所

○内容 厚生年金、健康保険などについて

(福井社会保険事務所)

楽しいわが家のお正月 入選者さま

市青少年愛護センターで募集した「楽しいわが家のお正月」作文の審査がこのほど行われ、次の方々が入選しました。

- ◇小学校低学年の部
- 首席 角田晃子 村岡小二年
- 次席 林まゆみ 北郡小三年
- 大元正信 成器南小二年
- 佳作 野辺りょう子 成器南小二年
- 黒田三穂子 村岡小二年
- ◇小学校高学年の部
- 首席 出水富美代 北谷小六年
- 次席 竹田典代 成器西小四年
- 桐喜代恵 成器西小六年

親子で卓球を 楽しみませんか

市卓球協会と市青少年愛護センターでは、第二回親子卓球大会を開きます。

この大会は、昨年はじめて開かれ、市内の親子が楽しもふつとほせと日頃の腕を競い、また親子の対話のよき機会と大変好評でした。

ことは、三月の家庭の日(十七日(青少年を守る日))に勝山中学校で開かれます。小学校四年生以上の人なら、お父さんでも、お母さんでもペアを組んで出場してください。とつても楽しいですよ。くわしいことは各公民館で聞いてください。

日時 三月十七日(月)午前八時から

会場 勝中第二体育館

種目 親子チームの団体戦(ダブルス)

小学生男子個人戦と女子個人戦

市内に住む親子で小学生は四年生以上)

南部・中部中学の 通学区域のおしらせ

四月一日から南部中学校および中部中学校が、それぞれ統合され新しく発足します。

中学校を統廃合して三校にすることは、勝山市の教育振興をはかるために、大変重要な課題でありましたが、国・県の財政的援助と、市民各位の深い御理解により、実現いたしました。

生徒の入学については、南部中学校は、成器南小学校下・平泉寺小学校下・三室小学校下です。

中部中学校は、村岡小学校下、野向小学校下、北谷小学校下、成器西小学校下です。

